

生駒山

生駒山の美しい山容と、現世利益の寺である宝山寺の門前の賑わいが特徴ある景観を形成している地区

整備のコンセプト:

生駒山周辺の眺めと彩りの魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- 宝山寺参道の桜並木は老木が多くなっている。
- 生駒山山頂では支障木が多く、眺望の阻害が見られるところがある。
- 河川や道路沿いに雑草が繁茂しているなど、魅力の低下が見られる。

課題解決への主な対応

- 参道整備にあわせた桜並木の更新等
- 彩り植栽の充実
- 植栽の剪定、支障木の除去等の恒常的な適正管理

【今後の連携方策】 一部、民地の植栽管理が望ましい箇所もあり、地域と一体となった植栽景観の向上に向けた取り組み。

◆エリアの特徴的な景観



宝山寺～生駒駅の石畳

□宝山寺周辺

短期 宝山寺参道にヤマザクラ等の植栽を行い、彩りある景観づくりを図る

平面図 イメージ図



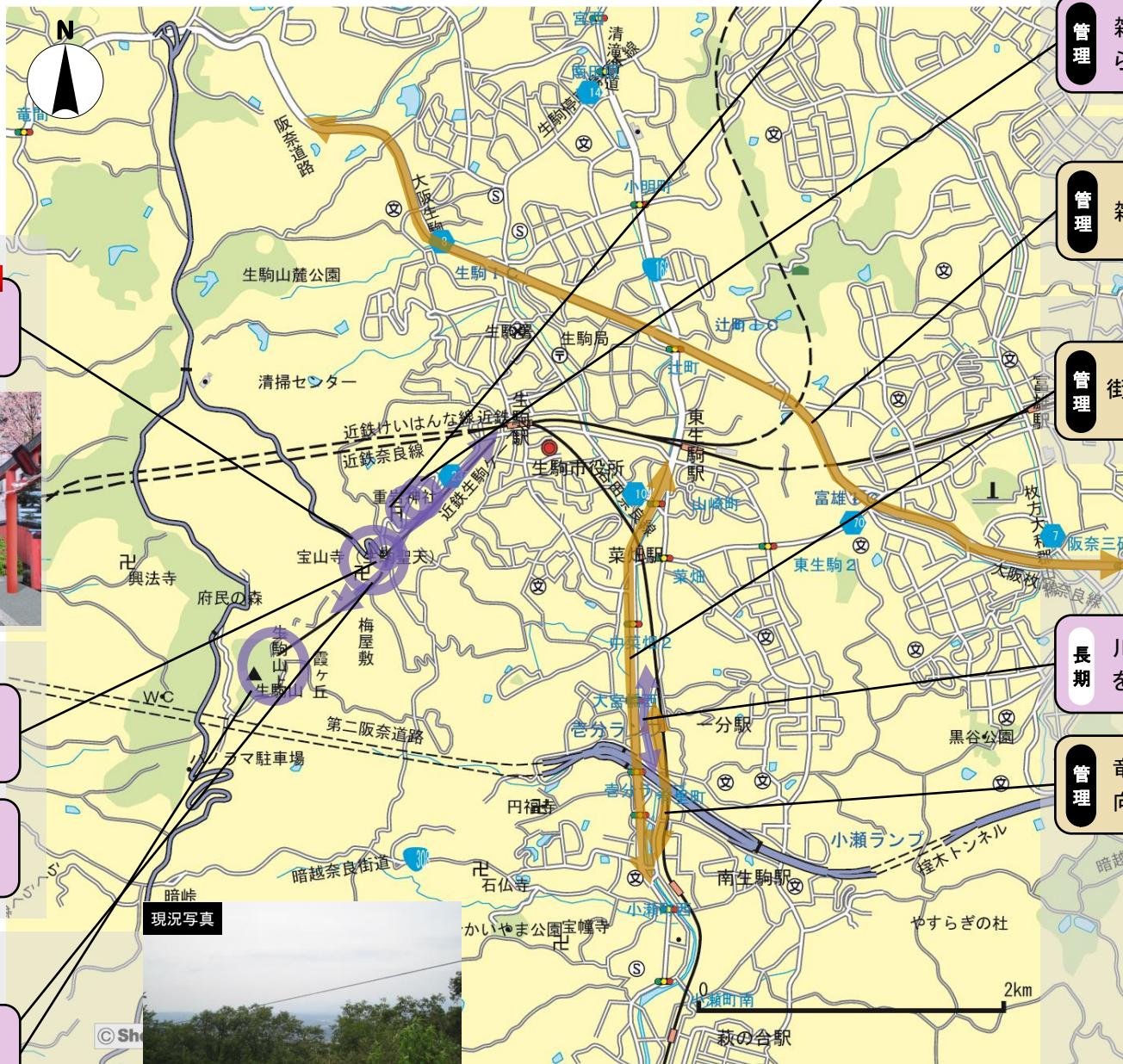
□生駒ケーブル周辺

長期 フェンスの切り下げを行い、生駒ケーブル宝山寺駅前からの眺望確保を図ることが望ましい

長期 植栽により彩りを付与し、眺望景観の向上を図ることが望ましい

□生駒山山頂

長期 支障木の伐採を行うとともに、植栽により彩りを付与し、眺望景観の向上を図ることが望ましい



□体育館周辺

長期 支障木の伐採と植栽による彩りの付与を行い、やすらぎ空間の創出を図ることが望ましい

管理 雑草管理を行い、眺望景観の向上を図るとともに、やすらぎ空間の創出を図ることが望ましい

□阪奈道路沿道

管理 雑草や植栽の適正管理を行い、景観の魅力向上を図る

□国道168号沿道

管理 街路樹の剪定や雑草管理を行い、景観の魅力向上を図る

□竜田川沿い

長期 川の西側の桜並木の枝透剪定を施し、景観の魅力向上を図ることが望ましい

管理 竜田川と旧国道168号の雑草管理を行い、景観の魅力向上を図る



現況写真